



10/21 東洋大学でのシンポジウムに登壇。
外国人受入政策、福岡県の取組について発表しました。



11/1 県事業の「福岡キャリア・カフェ」に参加。
起業・フリーランスの働き方について、意見交換。



11/4 ともてらす早良の開館2周年イベントに参加。



11/4 福岡レインボープライドに参加。
県もパートナーシップ宣誓制度によりLGBTQの
皆さんを応援しています。



11/9 副委員長を務める建築都市委員会の視察。
首里城の復旧工事の説明を受けました。



11/18 BOATRACE福岡でのe-sportsイベント
(福岡市後援)の視察。東京都昭島市議の皆さんと。



11/24 福岡県議会ハラスメント防止
研修会に参加しました。



11/29 早良警察署にて、藤木署長
より早良区内の事件事故等の状況
について説明・意見交換。



12/10 こどもフォーラム福岡2023に
参加し、子どもの権利について調査しました。



12/21 議会運営委員会で、タブレット
活用状況など議会のICT化について
視察。

ごとうかおり プロフィール

1979年 大分県日田市生まれ
1998年 大分県立日田高校 卒業
2002年 愛知教育大学 教育学部(総合理学コース) 卒業
大学卒業後、短大、専門学校にて勤務
2014年 ふくおか女性いきいき塾 3期生
2019年 福岡県議会議員 初当選
2023年 福岡県議会議員 2期目当選
南庄在住、夫と子ども3人、義父母の7人家族
〔趣味〕カラオケ、マンガ、ヨガ、史跡めぐり
・「女性のための政治スクール」「パリアアカデミー」修了

子育て世代・女性の声を
届けるため日々奮闘中!

福岡県議会 民主県政クラブ県議団 所属
政策審議会事務局次長
女性活躍・ジェンダー委員長
●建築都市委員会 副委員長
●子育て支援・人財育成調査特別委員会 委員
●オイスカ国際活動促進福岡県議会議員連盟 副会長
●福岡県森林・林業・林産業活性化促進議員連盟 幹事
●アビスパ福岡を応援する会 理事
●福岡県住宅供給公社評議員会評議員
●福岡県交通対策協議会委員
・福岡県日中友好協会 副理事長
・西区野球連盟 顧問
他にも、子ども会、福岡西部子ども劇場など、
地域の皆さまと共に活動中!

福岡県議会 民主県政クラブ県議団
会派控室

〒812-8574 福岡市博多区東公園7-7県議会内
TEL 092-643-3804 FAX 092-622-6203

立憲民主党

福岡県議会議員 (福岡市早良区)

後藤香織 県議会
報告

後藤香織 県政事務所

〒814-0022 福岡市早良区原3丁目17-38 五十三萬石ビル 2F
TEL 092-832-6807 FAX 092-832-6808
E-mail rikken.gotokaori@gmail.com



新しい年に想いを新たに

新しい年 2024年(令和6年)を迎えました。

能登半島地震、日航機の衝突事故、小倉の火災と胸が苦しい出来事が続きました。お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2023年は、ようやく新型コロナウイルス感染症による制約がなくなり、地域で皆様とお会いし、お声を聞く機会が増えた1年でした。これからもぜひご意見をお聞かせください。

私も春には県議会議員として6年目を迎えます。これからも「県民の声を政治に届ける」「県政を身近にする」ため、皆さまに一番近い議員として頑張ってまいります。

また「政治とカネ」の問題で、多くのみなさまの怒りの声、政治不信が大きくなっています。腐敗した利権・世襲を打破し、政治の信頼を取り戻すため、議会改革を進め、真摯に取り組んでまいります。

今年は特に、安心して暮らせる地域づくりに尽力してまいります。

福岡県議会議員
後藤香織

福岡県議会 12月定例会報告

2023年12月定例会は、12月1日から20日までの20日間の会期で開催されました。

定例会開会日に知事から、補正予算議案2件、条例議案6件など計25議案が提案され、12日には補正予算議案2件が追加提案されました。

各議案とも、各常任委員会での審査を経て、12月20日に一般会計の総額で871億2,100万円余の補正予算を含む、計27議案が可決・成立しました。

また「ガザ地区における戦闘行為の即時停止等と恒久平和を求める決議」が全会一致で可決されました。

補正予算が可決！その一部をご紹介します

○病児保育の提供体制整備 約7,600万円

9月定例会で、県がことし4月に病児保育を無償化して以降、利用者が急増し予約を取りづらい状態が続いていることを一般質問で私が指摘しました。それに対して県は新たな施設やベッドなどの設備の整備費用を助成します。

○中小企業の賃上げ支援の費用 約4億3,500万円

業務のデジタル化で生産性を向上させ賃上げにつなげる事業者などに助成

○電気代等上昇分への支援 約47億8,300万円

県民生活を支える医療機関、社会福祉施設、子ども食堂などに電気代などの上昇分を支援

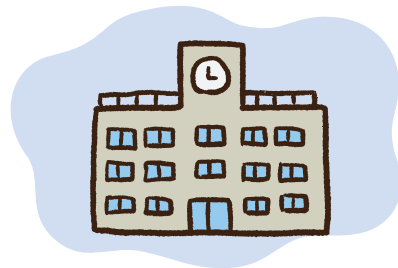
子育て世代・女性の声を県政に! 働く者、生活者の声を届けます!

学校が大ピンチ! 先生が足りない!!

1 先生になりたい人が減った!全国平均よりも低い採用試験倍率

■ 福岡県 小学校 教員採用試験志願倍率 ()内は全国平均

	2023 年度 (2.3)	2022 年度 (2.5)	2021 年度 (2.6)
福岡県	1.4	1.3	1.5
福岡市	2.0	1.8	1.9
北九州市	2.4	1.9	2.0



福岡県教育委員会では、来年度実施の採用試験より、大学3年生から受験できる新たな制度を導入。再来年度の採用試験のうち1次試験の日程を3週間前倒し、来年6月16日に実施。また、1次試験が免除される成績優秀者が対象の「大学等推薦特別選考」については、大学ごとに推薦できる人数の制限をなくす、などで志願者を増やしたい狙い。

2 多忙やクレーム対応などで疲弊し、病休や辞めていく先生たち

2018年以降、福岡県（政令市のぞく）では、定年退職以外で300人前後が毎年退職。近年は、若年教員の退職が、2018年度81人から、2022年度は全体の約半分の158人と急増。

■ 福岡県の公立小・中学校の病休、産休・育休の状況 ※西日本新聞より抜粋

年度	福岡県		福岡市		北九州市	
	病休	産休・育休	病休	産休・育休	病休	産休・育休
2019	126	510	99	429	36	273
2020	61	568	88	491	43	253
2021	103	670	107	464	53	271
2022	—	—	116	584	64	298

2022年度は精神疾患で
休職した教員が過去最多!!
福岡県105人(0.45%)
福岡市94人(1.13%)
北九州市46人(0.87%)

3 未配置(先生の数が決められた数より足りない)状態により、多忙化が悪化する負のスパイラル

■ 教師不足の現状(2021年始業日時点) ※文科省「教師不足」に関する実態調査

	小学校		中学校	
	不足数	不足校数	不足数	不足校数
福岡県	90人	80校(18.1%)	89人	53校(25.9%)
	全国ワースト2位		全国ワースト1位	
福岡市	7人	7校(4.9%)	38人	28校(40.6%)
北九州市	4人	4校(3.1%)	1人	1校(1.6%)



4 教員不足の背景には、分離教育の影響も? 急増する特別支援学級・特別支援学校

義務教育を受けている児童生徒数は減少しているのにも関わらず、2022年度、特別支援教育を受ける児童生徒数は過去最多のおよそ60万人。10年前の2倍以上にのぼります。

福岡県では、2024年度に糸島特別支援学校、2026年度に早良特別支援学校・宗像特別支援学校（仮称）と3校立て続けに新設されます。特別支援学校、特別支援学級や通級は、1学級3～13人が定数のため、教員の確保はより喫緊の課題になります。福岡県が教員志望の若者に選ばれるためには、教員の多忙化解消に向けた抜本的な改革が必要です。



一般質問では、予備時数削減や業務軽減など、現場の教員が改善の効果を実感できる、より一層の取組を、お願いしました。
国は、教職員定数の抜本的改善、給特法を廃止し
残業代を支給、公教育への予算拡充を!!

質問内容の詳細については、
後藤香織オフィシャルホームページ、
または福岡県議会ホームページにて
動画、検索ができますので、ぜひご覧ください。



県政を身近に! 議員活動の見える化を進めます!

親子傍聴席ができました!

私の4年前の県議会初登壇の日。友人たちが傍聴に来てくれ、県議会での初赤ちゃん連れ傍聴となりました。
その時に、困ったのは、赤ちゃんが騒いんだり、泣いたりしたら、退出しなければならない、ということ。
そこで、私たちの会派も積極的に推進し、ようやく12月定例会開会日、本会議場に、お子様連れで議会傍聴が出来る「親子傍聴席」が完成しました。
傍聴者向けに、男女トイレ共にオムツ交換台、みんなのトイレもできました。
また、私の一般質問の傍聴に友人が来てくれ、初めて親子傍聴席を利用しました。防音ですが、子どもの声が少し聞こえてきましたが、親子傍聴席があることで周りを気にせず傍聴できたそうです。親子傍聴席は、バルーンが飾られていて、かわいくなっていました
ぜひ、子育て世代の皆さんにも傍聴に来ていただき、県政を身近に感じてほしいです!



2019年6月初登壇時



奥に授乳スペースも



初利用でした



傍聴時の様子



トイレのオムツ替えスペース



みんなのトイレも

福岡県議会 12月定例会 ～代表質問から～

- 1 県政推進の基本姿勢について
 - ①来年度予算の基本方針について
 - ②ジェンダー平等への取組について
 - ③公契約のあり方について
 - ④市町村振興局の取組について
- 2 不活動宗教法人について
- 3 未利用公共施設の利活用について
- 4 物流の2024年問題について
- 5 学校司書について
- 6 価格転嫁について
- 7 交通安全への取組について
- 8 朝倉地域の活性化支援について

廃校の利活用を!

- 全 国 廃校の延べ数は**8,580校!** 毎年450校程度の廃校施設が発生し、今後も増加する見通し
- 福岡県 市町村立学校の廃校数は**141校**
そのうち活用の用途が決まっていない学校数は**47校**
再編統合された県立学校33校のうち、現段階で活用の用途が決まっていない学校は2校
(2021年度文部科学省)「廃校施設等活用状況実態調査」

県内市町村と連携し、民間事業者が廃校を含む未利用の公有財産を積極的に利活用できるよう、県や各市町村が有する未利用公有財産の情報を一元化し、民間事業者に広く周知するとともに、市町村に対しても未利用地の利活用の支援を!

ごとうかおり公式ホームページ <https://www.gotokaori.com>